



本当に私が
この身を
差し出しさえ
すれば

黄葉ちゃんには
何もしないのね

いいわ……
おじさんの
好きにして



油断させて
二度とこんな
愚かな要求
出来ないように
ポコポコに――



ええ!?

むむむ……
すまん黒姫
我もお前も……
力が使えんかも
どうやらこの男
妙な能力を
持っているらしい



やらしい事が
苦手だった
小鳥遊黒姫だが

もう…もう
分かった
…からあ♡

エッチな
おじさんには
勝てないって
分かったから♡

……え!?
ん…言う!
言うわッ

だからもっと
…もっと♡
ズボズボ
してえ♡

ぬほ♡
ぬほ♡

ズボ♡
ズボ♡

さ…さつきまで
処女だった…私
小鳥遊黒姫は
これから…あ♡

倍以上年の離れた
中年のおじさんの
おち…オチンポ
と…んん♡

一晩中♡何度も
本気エッチ…
しちゃうわね?
い…いえーい♡

種付けおじさんの
愛情たっぷりな
絶妙な性技に
あっさり
らぶ♡らぶ陥落!

REC
00:12:06:57

それから
一夜明け――

チンポ♡
おじさんチンポ
ピュッピュ♡

あやうきおじさん♡

ぢゅぢゅ♡

ピュッピュ♡

ピュッピュ♡

あやうきおじさん♡

んふふ

なんて展開を
期待されていた
みたいだね？

邪な欲望が
ツノにビンビン
届いてきたよッ

ヒューッ！
モテモテだね

え……
何で私？